

甲府の商店街 活性化へ研究会



武雄さん（奥中央）の講義に聞き入る甲府商店街の店主ら＝甲府市相生2の甲府商工会議所で

若手店主ら設立

講師招き研修や視察

甲府市の中心商店街の若手店主たちが「中心商店街活性化研究会」を設立した。16日からは全国の商店街活性化に実績のある中小企業診断士、武雄信夫さん(67)を招いて研修を始めた。民間主導の取り組みに、関係者からは期待の声が上がっている。

【小林悠太】

研究会には若手店主、客の細かいニーズに応点から線、面への展開から9人が参加した。甲えられる店が並ぶ一帯——などを目指す。月府商店街連盟の内部組、グジュアリー・モー1回の意見交換や他の織という位置つけた。ル」の実現▽繁盛店の商店街の視察などが予定されている。

行政の支援制度も活用する方針で、武雄さんを招いた研修も国の「個店経営研修事業」の助成による。来年2月までの4カ月間の予定で、計4回の店舗視察と講義がある。16日は商店街の店主ら16人に、武雄さんが繁盛店を作る方法などについて講義した。

武雄さんは、昨年度、甲府商工会議所などが主催した勉強会「商人塾」にも招かれ、売り上げ増に貢献している。

「方向性考え市に提案」

研究会メンバーの文房具店「ブラザー」経営、中川良治さん(37)は「商店街の方向性を自分たちで考え、市に提案できるようにしたい」と話す。メンバーもさらに増やしたい考えだ。

甲府商店街連盟の長坂善雄会長は「若い人の感覚を生かしてほしい」と期待を寄せる。宇野善昌副市長も「官主導の街作りとは違う画期的な取り組みで、今後に明るい展望が持てる。積極的に応援したい」と話している。

斐崎市の商店街も武雄さんを講師に招き、6、9月の「商人塾」に続いて同様の研修をする。7店舗が参加予定。武雄さんは「取り組みを継続することが大切」と話している。